

二十歳の誓い

小さい頃から人と異なる事をしたいと考えていた私は小学四年生の頃、周りが野球やサッカー一部に入部する中バスケットボール部に入部しました。中学でも続け、高校受験の際は推薦で入学しました。スポーツする身として順調でしたが一年目の夏、私にとって大きな壁に当たることになりました。

優勝の目標を掲げるチームの練習に精一杯な私でしたが、夏前に練習に応じた成果が得られないまま、ここまでやるのかと気が滅入り何に対しても無気力になりました。退部すると同時に退学することになる状況の中で私が救われたのは「大丈夫か」などの言葉よりも「お前面白いから続けたらええやん」といった同級生と先輩方の言葉でした。その後選手として復帰し無事に引退までプレーすることができました。

引退後は周りの人がくれた言葉や過去の学生生活などの経験から、大学の四年間は挑戦の時期にしようと思ひ、サークルや部活に入らず個人的な夢を追うという選択をしました。私の夢は「有名になる」ことです。これは小学生の頃から卒業文集で将来のことを熱く語るほど今でも本気で思い続けている夢です。その想いを胸に周りに宣伝までして始めた YouTube ですが数本の投稿で挫折しました。

このまま失敗に終えたくないと考えた私は今一番やりたかった音楽活動をしています。新たに行動を起こす際に背中を押してくれた友人のおかげで歌手になりたいという夢を明確に持つようになりました。そして去年の秋から河原町などで路上ライブを始めました。多くの人が見向きもせず通りすぎる中、立ち止まって聴いてくれる人がいるということが、とても励みになっております。曲を作る際にも心折れそうになることが多いのですが、それも私が決めた生き方です。あの頃もう少し挑戦しとけばよかったという思いのまま生きるより、必ず乗り越えて有言実行させる生き方をしたいです。

最後に私はこの場で「有名になる」ことを宣言します。これまでも同じことを口にし続けてきた私ですが、それは本気で夢を叶えたいと考えているからです。そして今この大勢の前で非常にリスクなことを言いました。でももうやるしかありません。今の目標は自分の誕生日である来月に自分の曲でデビューすることです。これから更なる挫折を繰り返すと思いますが全て行動の証だと認識して自分を奮い立たせていこうと考えています。失敗を失敗に終えず、夢ある未来に向けて挑戦し続けることを二十歳の誓いとさせていただきます。

令和5年1月9日 新成人代表 中村 凜